



新年明けましておめでとうございます。  
 昨年、おかげさまで創業100周年を迎えました。  
 今後も皆様への感謝を忘れず、一層の努力に励んでまいります。  
 本年もどうぞ宜しくお願い致します。



# ハリハリタイムズ

2023年冬号 Vol.53

株式会社 則武工務店 ☎ 03-3531-6311



## 「あって良かった住宅設備」ランキング

家を建てたり購入したりするにあたり、導入する「住宅設備」に悩む方も多いのではないのでしょうか。実際に便利なのかを知りたい、価格が高くて迷っている、という方向けに持ち家にお住まいの方に聞いたあってよかった住宅設備ランキングをご紹介します。

### 【1位 浴室乾燥暖房機】

僅差で一位に輝いたのは浴室乾燥暖房機。いつでも洗濯物が乾かせる点や、カビが生えにくいこと、冬の寒さを防げることから選ばれました。毎日長時間使っていると光熱費がかさんでしまいますが、それ以上に便利さを実感している人が多いようです。

### 【2位 床暖房】

床暖房は、エアコンをつけていても寒くなりがちな足元から暖かく、乾燥しにくいのもポイントです。また、暖房器具のようにスペースをとらないため部屋が広く使えて、出し入れの手間もありません。火傷の心配もなく、安全面と快適さから費用をかけてでも導入して良かったという人が多い設備です。

### 【3位 食洗器】

とにかくラク!という声が多数上がったのが食洗器です。洗う手間が省けるというだけでなく、手荒れが無くなるという点も選ばれたポイントになりました。最初は不要だと思っていたけれど、今ではもう無かった頃に戻れないという人も多いです。

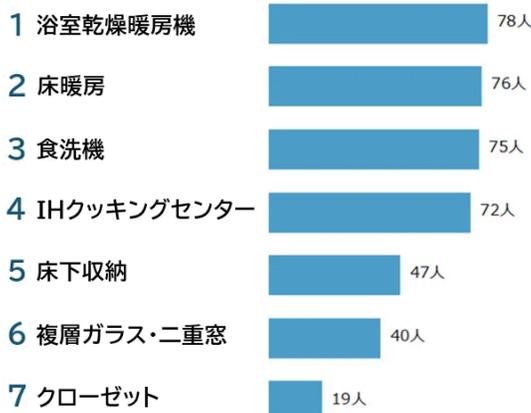
### 【4位 IH キッキングヒーター】

ガスコンロと違いフラットなので掃除が楽なこと、炎が出ず安全に使えることから選ばれました。それ以外にも、温度設定がしやすいことや、タイマーがついていることなど料理に役立つ点も選んだ理由としてあげられています。

上記4つは僅差となっており、導入して良かったと思っている方が特に多い住宅設備です。

新築で最初からつけることはもちろん、リフォームなどで導入することも可能ですので則武工務店までお気軽にお声掛けください。

あって良かった住宅設備



あってよかった住宅設備ランキング  
 (出典：プレスリリース)

## 建物探訪

### 伊勢神宮



11月に念願の伊勢神宮に行ってきました！御朱印コレクターなので、お伊勢神宮の御朱印帳を購入してから回り、たくさんのお朱印をいただきました。

2013年に行われた「式年遷宮」は皆さまも記憶に新しいですね。「式年遷宮」とは、20年に一度、新しく建てた社殿



◀ 伊勢神宮  
 ▼ 御朱印帳



に神様がお引越をする神宮最大の行事で、神宝、宇治橋や鳥居など全てが新しくなります。

これが1300年間続いているというからスゴイですね。社殿の横に同じ大きさの更地があり、そこに新しい社殿を建てるので、遷宮が行われる年には、新旧並んだ社殿の姿を見ることができそうです！

次回は是非、式年遷宮が行われる2033年に再訪したいと思っています。

冬は気温も低く日が当たる時間が短だけでなく、衣類や暖かい素材のシーツなど厚手のものが多いため、自宅に浴室乾燥機などが無い場合は洗濯物が乾きにくい季節です。洗濯物の乾きやすさは、洗濯物の水分がどれだけ早く水蒸気になって洗濯物から抜けていくかで決まります。

## ✔ 冬に外干しをするならば…

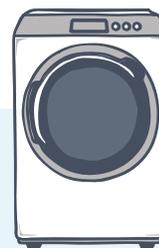
冬に外干しをするならば、朝早くに洗濯し、太陽の出ている時間帯に干します。夜間は気温が下がり、水分が洗濯物から逃げにくくなるので、外干しは避けた方が良いでしょう。



## ✔ 冬に部屋干しするときには…

乾きにくい冬の部屋干しでは、3つのポイントを意識することが大切です。

- ① 洗濯物に残っている水を少なくする
- ② 空気が水蒸気をたくさん含むことができる場所を選ぶ
- ③ 濡れた洗濯物の表面に乾燥した空気を循環させる



暖房で室温を高くし、加湿器はつけず、サーキュレーターを使用して、空気を循環させます。夜間や早朝の窓際は外気温の影響を受けやすいので、洗濯物を干す場所としては適切ではありません。

リフォームで設置することも出来る浴室乾燥機を使用するときにも、サーキュレーターを併用して、乾燥した空気を循環させるようにすると、丈の長いものも乾きやすくなります。

## お役立ち情報

### 自宅が安全なら在宅避難を

先日12月4日（日）に地元の防災拠点にて3年ぶりに防災訓練が行われました。

災害時に防災活動の拠点となる施設や場所のことを防災拠点と呼びます。避難所が設営されたり、物資を配ったり道路の通行止めなど様々な情報が集まってくる拠点になります。私は防災拠点の責任者を務めているため、住民の方から「地域の人が全員、この避難所に来たら入りきれないのでは?」「足の悪い高齢者はどうやって避難所まで来るのか?」と質問されることがあります。「災害が起きたら全員が避難所へ行かなければならない」と思っている方が多いことに驚き、同時に、「在宅避難」がまだまだ浸透していないことを感じます。



避難所とは「難を避けるために行く場所」であり、ご自宅が安全でかつ飲み物や食べ物の貯蓄があり、過ごせるのであれば避難所に行く必要はありません。これを「在宅避難」と呼びます。「在宅避難」ができれば、避難所で過ごすよりも感染リスクやストレスも少なく済みます。大地震が起こっても家で安全に過ごせるよう普段から災害対策を心掛け、最低でも3日間分の水と食料を蓄えておくことで安心です。これを機会に、ご家庭で「在宅避難」について話し合ってみてはいかがでしょうか。



創業101年の  
株式会社 則武工務店

〒104-0054 東京都中央区勝どき2丁目7番9号  
TEL: 03-3531-6311 FAX: 03-3531-3157  
【HP】 <https://www.noritake-con.com/>

## 編集後記

3年ぶりに行動制限のない年末年始、いかが過ごされましたでしょうか。今年こそはマスク無しの生活に戻りたい、と切に願います。今年も皆様に役立つ情報を発信してまいりますので何卒宜しくお願い致します。

